

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【ベトナム】

担当講師	谷島 昇 (株式会社コスモテック代表取締役) 稲川 文夫 (SESPP 事務局技術顧問)
実施期間	2021年10月25日(月)～10月29日(金)
実施場所 【リモート開催】	ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市 サイゴンハイテクパーク訓練センター (SHTP-TC) 日本国 東京都八王子市 スタジオオルウェイズ
研 修	技能評価者講習 (SAT)・技能評価トライアル (SET)
実施職種	機械製図 (CAD 作業) 3 級

2021年12月

結果概要

1. 対象者数：SAT 受講者 12 名(ハワイからオンラインでの受講者 4 名を含む)
SET 評価者数 12 名 / 受検者数 6 名 / 合格者 1 名

2. 日程

日時	指導内容
10 月 25 日 (月) 8:30~16:30	【技能評価者講習】 開講式 (1) SESPP 概要 (2) 日本の技能検定について (3) 評価者の役割と責務 (4) 実技試験問題、必要な機材等について (5) 必要な備品について (6) 実技試験実施方法及び運営上の留意点について (7) 役割演習 (評価者と受験者に別れて) Auto CAD による作図と実技試験の運営方法を演習
10 月 26 日 (火) 8:30-16:30	【技能評価者講習】 (1) 役割演習 (続き) (2) 採点・評価実習 (採点項目と採点方法について) 採点項目は以下の通り ①形状の作成及び表示、②寸法等の記入、 ③表題欄、④図面の見栄え、⑤作業態度採点、 ⑥特別採点 (3) 評価チームの編成と役割分担 (4) 試験用機材のチェック (USB、A3 用紙がプリントアウトできるプリンター等を含む) (5) 試験会場設営・機材の配列 コンピュータをスタート時の状態に設定
10 月 27 日 (水) 8:00-17:00	【技能評価トライアル】 <u>8:00~8:20</u> 受付、開会式 <u>8:30~12:00</u> 実技試験 (受検者：6 人) <u>13:00~14:00</u> 学科試験 (受検者：6 人) <u>14:00~17:00</u> 受検者が保存した作図データの確認 (受検者が USB に保存したもの) ・ USB のデータを A3 用紙にプリントアウト ・ 採点作業の準備

<p>10月28日(木) 8:30-16:30</p>	<p>【技能評価トライアル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採点・評価(次の採点項目を評価する) ①形状の作成及び表示、②寸法等の記入、 ③表題欄、④図面の見栄え、⑤作業態度採点、 ⑥特別採点 <p>・試験結果表の作成</p>
<p>10月29日(金) 8:30-16:30</p>	<p>【技能評価トライアル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CAD図面作成の要点及び採点上のポイント ①よく間違える寸法記入方法 ②よく間違える図示方法 ③基準面を意識した寸法記入 <p>・総括</p>

3. 講評 (谷島講師)

昨年のハノイに続き今回はホーチミンでの技能検定教育・試験に参画させていただきました。以前には私は、ベトナムに進出している日系企業の技術指導を実施していましたが、今回の受講者は比較的レベルが高いと感じました。ハノイから受講された評価者の皆さんも熱心に受講されたと感じ、どの様な思いで受講・受検されたのかを考えて、今後に期待しております。間もなくハノイで2回目が実施予定ですが、この教育・試験を継続すると共に、訓練施設を有効活用する事で教育レベルを高め、日本との技術連携を強化する事で、両国経済の相乗効果が期待できると考えます。

少し残念に思えたのは時間感覚の鈍さです。ベトナムの皆さんが日本と連携して物事を進める場合に改善する重要点で、今後参画させていただく際は、技術以外にもアドバイスさせていただきたいです。コロナ禍にあって貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

4. 講評 (稲川講師)

ベトナムの大学、短大における機械製図の教育は、ロシア時代の技術教育の影響を強く受けている関係で第一角法による製図法を教えている。一方、日本では第三角法による機械図面が一般的で、ベトナムにおける日系企業の現場では、従業員に対して第三角法による機械図面の読み方、描き方を教え直しているのが実情である。このような背景を考慮すると、何人の受検者が実技試験の課題図を読みこなして第三角法で正しい図面配置に仕上げるかは、大変興味深いところであった。

今回の6人の受検者の試験結果は、学科試験合格者6人、実技試験合格者1人で、両方の合格者1人であった。実技試験に関しては、6人中4人が課題図を読みこなして、正しい図面配置で仕上げていた。その内訳は、70点台：1人、50点台：2人、40点台：1人、未完成：2人である。

第三角法による製図法を概ね理解しているものと判断される。一方、寸法の記入方法、ねじの表示

方法、表面性状の決め方と表し方等については、理解不足の面が多く見受けられ、さらなる訓練の必要性を感じた。

SHTP-TC の Ban 氏の説明によると、機械製図（CAD 製図）に対する近隣の工業団地の企業の要望は高く、受検希望者の多い職種であり、SHTP-TC が提供する従業員訓練コースとしても人気の高いコースである。ホーチミン地域の企業ニーズに応えるために、今後とも重視していく職種であるとのことである。

5. アンケート結果

SAT【技能評価者講習】

◆評価者 12 名（回答者 12 名）

満足度：	大変満足=10 人	満足=2 人
役立ち度：	大変役立つ=11 人	役立つ=1 人
継続性：	是非継続すべき=10 人	継続すべき=2 人

【改善点・提案】

- ・ 評価者講習（SAT）はもっとオンラインで実施されるべき
- ・ 学科試験の一般的な内容、訓練内容、学科試験問題の作成方法を改善したい
- ・ 日本の検定試験を運営する組織を視察、研修を希望する
- ・ 日本での技能検定試験を直接に観察し、訓練と学習に参加して、経験を得たい
- ・ コロナ感染が終息したら、直接研修コースに参加したい
- ・ 学生や従業員がもっと参加できるように企業に広める

【意見・感想・実施希望】

- ・ CNC 加工
- ・ CNC 旋盤試験を受験したい
- ・ フライス盤
- ・ シーケンス制御
- ・ 金型加工
- ・ CAD2 級
- ・

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続性： 是非継続すべき=1 人

【改善点・提案】

- ・ SAT はオンラインで実施できることが分かった
- ・ 受検者はオンラインで CAD 試験を受検できる

【意見・感想・実施希望】

鋳型

SET【技能評価者講習】

◆評価者 12 名（回答者 12 名）

満足度：	大変満足=9 人	満足=3 人
役立ち度：	大変役立つ=11 人	役立つ=1 人

向上度： 大変向上した=9人 向上した=3人
継続性： 是非継続すべき=11人 継続すべき=1人

【改善点・提案】

- ・採点する前に実際に受検したい

【意見・感想・実施希望】

- ・金型加工
- ・シーケンス制御
- ・CNC フライス、切削加工、CNC メンテナンス
- ・旋盤

◆受検者6名（回答者6名）

満足度： 大変満足=5 満足=1人
役立ち度： 大変役立つ=5 役立つ=1人
継続性： 是非継続すべき=5 継続すべき=1人

【改善点・提案】

- ・大変満足しました
- ・お湯とランチの提供

【意見・感想・実施希望】

- ・3DCAD 製図（3次元設計）
- ・機械検査

◆現地責任者1名（回答者1名）

継続性： 是非継続すべき=1人

【改善点・提案】

- ・日本の専門家が現地に來れるようになれば、もっと効果が得られると思います

【意見・感想・実施希望】

- ・今後は、機械検査、CAD 製図、シーケンス制御を実施させていただければと思います